



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)祖父江 高明 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	211,805	△25.6	△5,730	—	△6,389	—	△5,726	—
2019年3月期第2四半期	284,670	64.3	10,315	—	9,920	—	7,996	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △6,457百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 7,931百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△74.31	—
2019年3月期第2四半期	103.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	283,748	64,305	22.6
2019年3月期	299,144	71,536	23.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 64,086百万円 2019年3月期 71,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,400	△14.1	△400	—	△1,000	—	△300	—	△3.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	78,183,677株	2019年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,121,198株	2019年3月期	1,121,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	77,062,486株	2019年3月期2Q	77,062,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における原油価格（ドバイ原油）は、期初1バレルあたり68ドル台で始まり、4月下旬には74ドル台まで上昇しましたが、その後は世界経済減速への懸念等から大きく下落し、8月上旬には56ドル台となりました。9月に入り、サウジアラビアの石油施設への攻撃による供給懸念の高まり等から、中旬には一時67ドル台まで急騰しましたが、その後は同石油施設の早期復旧見通しを受け下落し、60ドル台で期末を迎えました。この結果、期中平均は約64ドルとなりました。

一方、期初1ドル111円台前半で始まった外国為替相場は、4月下旬に112円台前半まで円安が進みましたが、その後、米政策金利の引き下げ観測や米国とイランの関係悪化等を背景に円買いが加速し、6月には一時107円割れとなりました。8月に入ると米中の報復関税の応酬等で一段と円高が進み一時104円台半ばとなりましたが、その後は米中の対立に緩和観測が出てきたこと等を受けて値を戻し、期末は107円台後半で終了しました。この結果、期中平均は約109円となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したこと等により、前年同期に比して1,007千キロリットル減の3,137千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、887千キロリットル減の3,278千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理による販売数量減により前年同期比728億円減収の2,118億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法および簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が12億円の原価押し上げ要因（前年同期は59億円の原価押し下げ要因）となったことに加え、小規模定期修理の影響等により、営業損失57億円（前年同期比160億円減益）となりました。経常損失は63億円（前年同期比163億円減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は57億円（前年同期比137億円減益）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業損失相当額は45億円（前年同期比89億円減益）、経常損失相当額は51億円（前年同期比91億円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ153億円減少の1,605億円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少83億円、たな卸資産の減少38億円、未収入金の減少31億円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べほぼ変わらず1,231億円となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加10億円、機械装置及び運搬具の増加3億円、建設仮勘定の減少8億円、投資有価証券の減少6億円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ45億円減少の1,759億円となりました。主な要因は、買掛金の減少73億円、未払金の減少41億円、1年以内返済予定の長期借入金の減少15億円、未払法人税等の減少8億円、短期借入金の増加53億円、未払揮発油税の増加43億円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ36億円減少の434億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少29億円、修繕引当金の減少8億円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ72億円減少の643億円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少64億円、為替換算調整勘定の減少4億円、その他有価証券評価差額金の減少2億円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して5億円増加し、99億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、売上債権の増加122億円、たな卸資産の増加171億円等による支出が、仕入債務の増加108億円等による収入を上回ったことにより、キャッシュ・フローは30億円の支出となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においては、売上債権の減少83億円、未払揮発油税の増加43億円等による収入が、仕入債務の減少73億円等による支出を上回ったことにより、キャッシュ・フローは31億円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得9億円等により、キャッシュ・フローは11億円の支出となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においても、有形固定資産の取得21億円等により、キャッシュ・フローは16億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、配当金の支払6億円等により、キャッシュ・フローは11億円の支出となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においても、長期借入金の純減少45億円等により、キャッシュ・フローは7億円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(2019年5月9日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、原油価格(ドバイ原油)は下期60ドル/バレル(前回予想同65ドル/バレル)、為替レートは下期105円/ドル(前回予想同110円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比201億円減収の4,654億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格の想定を引き下げたこと等で在庫影響による原価押し上げ要因が発生することに加え、高経年化対応への集中的な取り組みに伴う精製コストの増加等により、営業損失4億円(前回予想比63億円減益)、経常損失10億円(同59億円減益)、親会社株主に帰属する当期純損失3億円(同43億円減益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業利益相当額は21億円(前回予想比38億円減益)、経常利益相当額は15億円(同34億円減益)となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,152	12,187
受取手形及び売掛金	56,890	48,500
有価証券	100	100
たな卸資産	90,596	86,720
未収入金	14,219	11,025
その他	1,955	2,065
流動資産合計	175,915	160,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,478	12,565
油槽(純額)	3,711	3,540
機械装置及び運搬具(純額)	32,821	33,151
土地	51,672	51,672
建設仮勘定	5,027	4,158
その他(純額)	419	597
有形固定資産合計	105,130	105,686
無形固定資産		
ソフトウェア	636	642
その他	133	133
無形固定資産合計	769	776
投資その他の資産		
投資有価証券	16,278	15,621
長期貸付金	795	795
退職給付に係る資産	150	128
その他	517	551
貸倒引当金	△412	△410
投資その他の資産合計	17,329	16,687
固定資産合計	123,229	123,150
資産合計	299,144	283,748

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,252	23,932
短期借入金	80,064	85,456
1年内返済予定の長期借入金	19,481	17,961
未払金	22,132	17,933
未払揮発油税	18,375	22,713
未払法人税等	910	107
その他	8,274	7,857
流動負債合計	180,491	175,963
固定負債		
長期借入金	29,386	26,400
繰延税金負債	8,429	8,732
特別修繕引当金	2,195	2,250
修繕引当金	4,060	3,238
退職給付に係る負債	2,451	2,418
役員退職慰労引当金	9	10
その他	585	428
固定負債合計	47,116	43,479
負債合計	227,608	219,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	30,396	30,396
利益剰余金	19,944	13,445
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	73,376	66,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△82	△329
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△1,888	△2,386
退職給付に係る調整累計額	△74	△76
その他の包括利益累計額合計	△2,044	△2,790
非支配株主持分	204	218
純資産合計	71,536	64,305
負債純資産合計	299,144	283,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	284,670	211,805
売上原価	272,398	215,385
売上総利益又は売上総損失(△)	12,271	△3,580
販売費及び一般管理費	1,956	2,150
営業利益又は営業損失(△)	10,315	△5,730
営業外収益		
受取利息	30	54
受取配当金	213	191
為替差益	1,158	655
持分法による投資利益	-	206
タンク賃貸料	106	105
その他	204	117
営業外収益合計	1,712	1,330
営業外費用		
支払利息	1,489	1,350
持分法による投資損失	50	-
タンク賃借料	117	116
その他	449	523
営業外費用合計	2,107	1,989
経常利益又は経常損失(△)	9,920	△6,389
特別利益		
固定資産売却益	4	4
受取保険金	-	1,024
特別利益合計	4	1,029
特別損失		
固定資産除却損	42	58
特別損失合計	42	58
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,881	△5,419
法人税、住民税及び事業税	1,888	△8
法人税等調整額	△13	301
法人税等合計	1,875	292
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,006	△5,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	7,996	△5,726

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,006	△5,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	301	△246
為替換算調整勘定	△63	△105
退職給付に係る調整額	△0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△311	△391
その他の包括利益合計	△75	△746
四半期包括利益	7,931	△6,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,921	△6,473
非支配株主に係る四半期包括利益	9	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,881	△5,419
減価償却費	3,266	3,243
修繕引当金の増減額(△は減少)	1,353	△821
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20	△12
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	62	55
受取利息及び受取配当金	△243	△245
支払利息	1,489	1,350
持分法による投資損益(△は益)	50	△206
為替差損益(△は益)	△182	332
売上債権の増減額(△は増加)	△12,255	8,390
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,144	3,876
仕入債務の増減額(△は減少)	10,863	△7,319
未払揮発油税の増減額(△は減少)	3,119	4,338
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,634	△3,804
その他	△5,633	1,267
小計	△2,757	5,026
利息及び配当金の受取額	460	466
利息の支払額	△1,545	△1,488
法人税等の支払額	△12	△906
法人税等の還付額	768	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,085	3,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△306	-
定期預金の払戻による収入	100	502
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△911	△2,154
有形固定資産の売却による収入	4	4
無形固定資産の取得による支出	△50	△21
貸付けによる支出	-	△0
貸付金の回収による収入	5	0
その他	△6	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,165	△1,686
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,935	5,059
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,930	△6,005
配当金の支払額	△617	△772
非支配株主への配当金の支払額	△3	△1
その他	△518	△521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,136	△742
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	△139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,476	537
現金及び現金同等物の期首残高	13,433	9,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,956	9,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。